

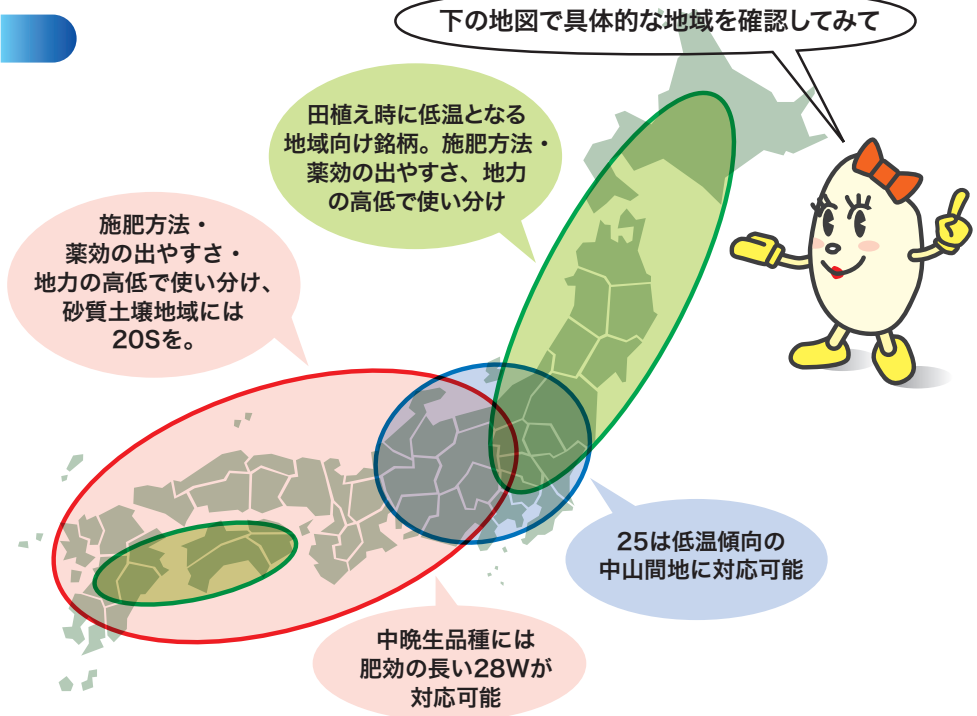
楽一の銘柄

銘柄	窒素-りん酸-加里 (%)	ウニコナゾール P (%)	農業登録 肥料登録	使用時期	使用方法	使用量 (kg/10a)	使用 回数※	代表的な 地域	代表的な 対象品種
楽一18	18-12-12	0.0040	第22450号 生第90142号	耕起～代かき時	全面施用 土壌混和	22.5～30	1回		コシヒカリ等
				田植え時	側条施用	15～30			
楽一20S	20-11-11	0.0020	第21560号 生第86572号	耕起～代かき時	全面施用 土壌混和	30～40			
				は種時	側条施用				
				田植え時					
楽一20W	20-12-12	0.0030	第22451号 生第90143号	耕起～代かき時	全面施用 土壌混和	22.5～30			
				は種時	側条施用				
				田植え時					
楽一21	21-11-10	0.0040	第21557号 生第86573号	耕起～代かき時	全面施用 土壌混和	22.5～30		 	
				は種時	側条施用	15～30			
				田植え時					
楽一25	25-10- 8	0.0040	第21558号 生第86574号	耕起～代かき時	全面施用 土壌混和	22.5～30			
				は種時	側条施用	15～30			
				田植え時					
楽一27	27-10- 7	0.0040	第21559号 生第86575号	耕起～代かき時	全面施用 土壌混和	22.5～30		 	あきたこまち ひとめぼれ コシヒカリ等
				は種時	側条施用	15～30			
				田植え時					
楽一28N	28-10- 7	0.0030	第23762号 生第101691号	耕起～代かき時	全面施用 土壌混和	20～40		 	
				は種時	側条施用				
				田植え時					
楽一28W	28- 8 - 8	0.0030	第24050号 生第104265号	耕起～代かき時	全面施用 土壌混和	20～40			中晩生品種 一部地域の コシヒカリ
				は種時	側条施用				
				田植え時					

※ウニコナゾールPを含む農業の総使用回数：2回以内(種子浸漬は1回以内、本田では1回以内)

代表的な地域

品種	銘柄
あきたこまち・ひとめぼれ系 早期コシヒカリ	27 28N
中山間地 コシヒカリ系	28N 27 25 21
コシヒカリ系	18 21 20W 20S
中晩生・コシヒカリ系 高窒素型	28W



注意事項(抜粋)

使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また、粉末を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

- 楽一は農業を含みます。使用量の上限を超えないようご注意ください。
- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届く所には置かないでください。
- 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

販売店



〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号
お客様相談室 0570-058-669
農業支援サイト 農力 https://www.i-nouryoku.com



C-013.22-11.1,500(沢)

倒伏軽減剤入り基肥一発肥料

楽一は
どんな肥料？

生育・肥効
効果

銘柄
代表的な地域

栽培事例
おすすめ場面

楽一はどんな肥料？

- 倒伏しやすい良食味米品種を対象とした水稻用基肥一発肥料です。
- 稈の伸長抑制作用をもつ有効成分(ウニコナゾールP)が含まれています。
- ウニコナゾールPは、稈の伸長をうながす植物ホルモン(ジベレリン)の生合成を阻害することで稈長を短くします。
- 楽一を施用することで、稈長は短くなり倒伏が軽減されます。
- 一穂籾数は減りますが、穂数が増える傾向にあり、登熟を高め、良食味米の安定多収が期待できます。

生育・肥効

■楽一の生育図

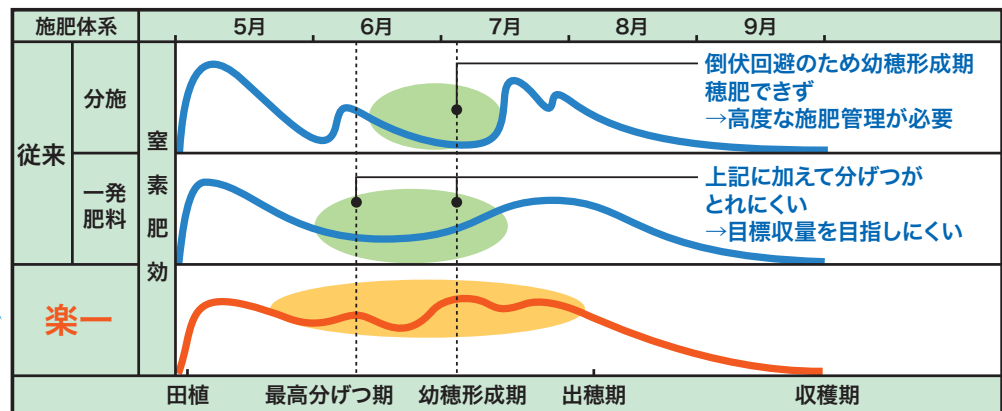
葉色が濃くて草丈が
短くなる傾向が

	最高分げつ期	幼穂形成期	出穂期	収穫期
				
	楽一区 慣行区	楽一区 慣行区	楽一区 慣行区	楽一区 慣行区
楽一区の特長	・草丈抑え始め ・分げつ促進 ・開張気味	・腰の据った稲姿 ・有効茎数確保	・稈長が短い ・有効茎数維持 ・止め葉が立つ	・節間を短縮 ・生葉3枚確保 ・登熟向上

(自社試験)

■楽一の肥効のイメージ

稲の生育に適した
肥効を実現



効果

- ①楽一は基肥一発肥料ですので、穂肥施用がなく省力になります。
- ②稲の倒伏を軽減し、安定多収に貢献します。
- ③玄米の粒厚が厚くなるため、粒張りの向上が期待できます。
- ④外観品質の向上が見込めます。
- ⑤玄米中のたんぱく質含量が低下し、食味の向上が期待できます。

■外観品質向上

石川県現地圃場試験で乳白米発生軽減を確認

試験区	整粒(%)	乳白粒(%)	屑米(%)
楽一区	95.5	3.9	0.6
慣行区	85.3	6.4	8.3

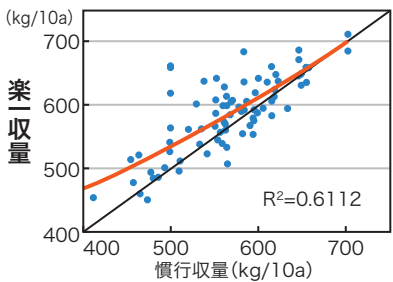
(2007年石川県、コシヒカリ、楽一20S(6.0kgN/10a))



使用量：30kg/10a 全層使用(2013年)

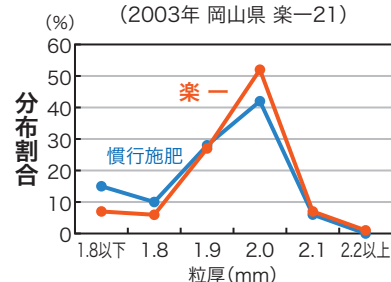
■収量性の向上

(1999～2004年 楽一8銘柄83点の測定結果)



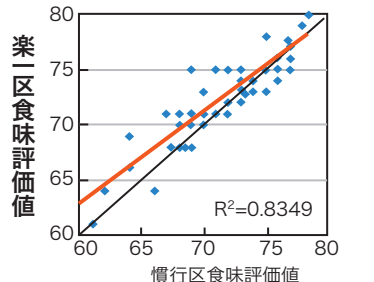
■粒張りが向上

玄米粒厚分布に及ぼす影響



■食味が向上

(1999～2004年の5年間、50点の測定結果)



栽培事例

楽一は全層施肥、側条施用、直播播種同時施用と広い範囲で使用が可能です。どの使用方法でも稈長の短縮、倒伏の軽減が確認でき、多収が期待できます。

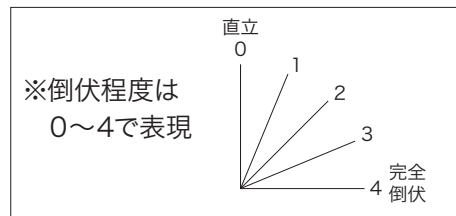
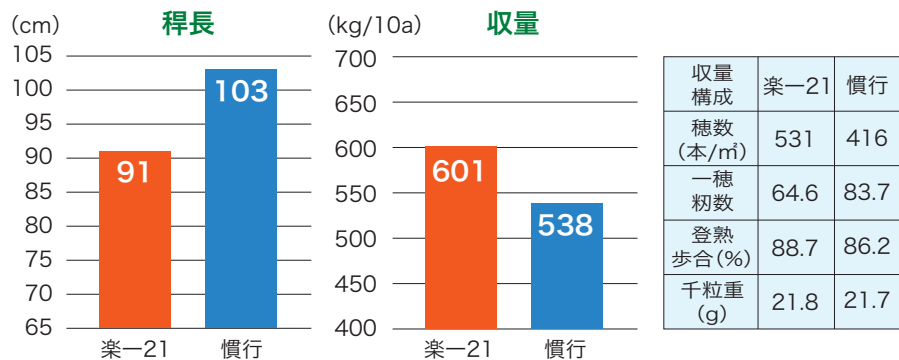
①全層施肥

地域：山形県(2002年)、品種：コシヒカリ

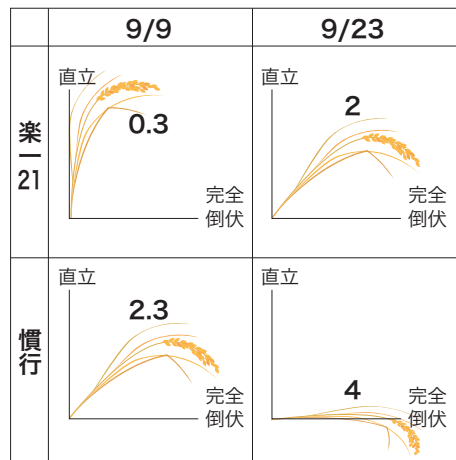
使用量：楽一21 22.5kg/10a施用

慣行 基肥窒素3.0kg/10a 追肥窒素1.5kg/10a施用

栽培期間：5/2薬剤処理、代かき5/9、移植5/22、収穫9/24



倒伏程度



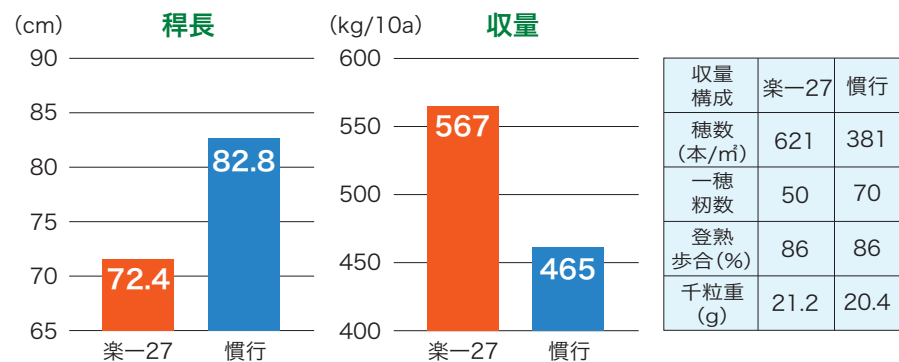
②側条施肥

地域：茨城県(2007年)、品種：コシヒカリ

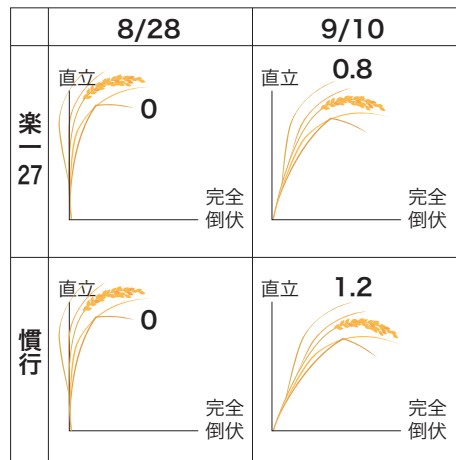
使用量：楽一27 30kg/10a施用

慣行 基肥12-16-14 40kg/10a 追肥17-0-17 12kg/10a施用

栽培期間：5/1移植・処理、収穫9/15



倒伏程度



おすすめ場面

●倒伏しやすい品種・収量が伸びない水田にもおすすめです。

ウニコナゾールPの作用で、長稈品種や水田でも節間を短縮し、稲の倒伏を軽減させます。加えて、登熟歩合の向上や玄米品質の向上が期待できます。これにより、安定多収を目指せます。

●「直播栽培」での使用も可能です。

移植栽培だけでなく、直播播種同時施用で登録を取得している銘柄もあり、幅広い場面での使用が可能です。播種同時施用栽培の事例でも増収、登熟向上が認められました。

●省力・コスト減を目指せます。

日本再興戦略による政府の生産コスト目標は約1万円/60kg。一方、農林水産省統計によるH30生産コストは15,352円。約35%のカットが必要。内3割超が労務費です。そこで、楽一を使うことで ①一発肥料で穂肥不要、②倒伏を軽減しコンバイン負荷を減らして収穫時間短縮によるコスト削減が見込めます。

